

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 虹のお家		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1、民家の特徴を活かした、家庭的な雰囲気と部屋数の多さ	1、各部屋に子どもたちがいる場合、職員が目が届くように「互いに声をかけあって、自分がどの部屋で支援しているか(しようとしているか)を確認し報告する」ことで、子どもだけが部屋にいないようにしている。	1、プログラムごとにメインの部屋とサブの部屋を指定しておく。
2	1、公園と児童館が徒歩5分以内にあるので、毎日の「自由時間」に希望すれば利用できる。 2、町内会の役員に「要配慮者施設」として認知してもらっている。	1、児童館の隣には避難書である集会所があり、「避難訓練時」は普段から見慣れた経路で移動できる 2、祭りなどは日曜日開催が多いので参加が難しいが、事前に寄付集めなどがあるので毎年役員の方に挨拶が出来る。 (11月の亥の子祭り)	1、児童館の利用登録を行い、行事にさんかする 2、町内会の役員さんに声をかけて、デイの見学をしてもらい施設の中を把握してもらう

3	1、生活する力を身につけるために「おてつだい」「お金のあつかい」「人と関わるマナー」「クッキング」などのプログラムを中心としている	1、学校休みのときは、「昼ごはんづくり」「おやつづくり」を行い、買い物から調理、後片付けまでを小集団で行っている。近隣に店が多くあるので食品・文具などを実際に出かけて買い物をする。	
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1、段差や階段があることで、身体的な障害を持つ児童の受け入れが出来ていない	1、築年数の古い賃貸建物の為、大きな改修ができない。	1、様々な災害時を想定して、障がいとなるドアやガラス戸を外している 2、高い場所や脱出口に物品を置かない
2	1、父母の会などの機会が少ない	1、現在の開催は3月のみなので、保護者は仕事の関係で参加しにくい	1、年に3回くらい、開催する 2、相談員さんによる「相談会」など、保護者のニーズにこたえる内容にする

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 虹のお家

公表日 年月日

利用児童数 2024/12/25現在 15名(12世帯)

回収数

5世帯

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1	0	0	・民家の特徴を生かして、部屋数は多いと思う。	・部屋の数が多いが職員の人数の確保を多めにしないと死角となるところが出てくるので、声をかけあって子どもだけにならないようにしている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	0	1	・職員の配置人数については分からないが、1対1の対応をしてもらっている	・有資格者を基準通り配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	1	・階段があり、玄関や屋内も段差がある。	・完全なバリアフリーへの改修は難しいので、見学時に十分な説明を心がけている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	0	0	0	・台所が広い ・中庭でプール遊びが出来る	・家庭的な雰囲気があることを活かして生活に密着した活動の場であると意識している
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		・スタッフは保育士、教師、看護師などの資格を持っており専門的支援を心がけています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	0		・放課後等デイサービスガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを提供しています

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0	・更新時に限らず日々の観察や課題の抽出について保護者からのご意見を記録し職員みんなで共有してから計画を作っています	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0	・全利用者に相談支援事業所との契約をお願いして、家庭と学校、デイサービスなどの関係機関をつなぎ目標設定について考慮しています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	・スタッフのスキルが向上し、常にサービス計画を意識して支援しています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	2	・季節の行事は工夫されていると思う ・工作やクッキングを楽しんでいる・低学年の子供向け行事が多い ・子ども同士で話し合って活動内容を決めることができる	・同じ取り組みでも学年や発達段階に応じて変化のある内容を提供出来るよう、立案から実行、振り返り、再立案を心がけています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	1	・公園にある児童館にも行く機会があればいいと思う	・交流のみを目的とした活動は行っておりませんが、地域の施設や公園で遊ぶ機会を多く取り入れています
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0	・はい	・ご利用の見学時、契約時には実際の活動の様子を見てもらいながら説明をしております
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	1	0	0	・計画の更新の時に説明された	・モニタリング表や計画の原案など、翻案作成に至る途中でもご意見をいただきながら説明をしています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	1	0	・お知らせは入っていた	・市町からの研修会のお知らせなどを提供しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	0	0	0	・メールや送迎の時にもう少し話が出来たらいいと思う	・利用時の面談・連絡ノートやラインメールなどを通して「今の様子」を互いに交換できるようにしています

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0	・定期的（更新時のとき）相談や悩みがあれば文書にてやり取りが来ている	・いつでも相談に応じることが出来る体制づくりをしております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0	・はい	・デイでの様子を記録する連絡ノートを活用して、うまくいかなかった時には保護者様に教えてもらいながら支援に反映しています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	1	2	・家族が参加する行事には参加したことが無い ・デイを利用していないきょうだいの話を聞いてもらいました	・毎年3月に保護者参加型のプログラムを【卒業を祝う会】計画して実施しています。相談員と話しが出来るコーナーを設けます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	0		・いつでも相談が出来るという事を、周知しておきたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0	・仕事があるため融通を聞いてもらっている	・ことばだけではなく、視覚的に分かりやすくなるよう写真や絵カードを使用しています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	0	・はい	ホームページ https://daichi-welfare.jp/nijinoouchi.html
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0	・はい	・個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管。Instagramには個人の特定が出来ないようにしていま
非常時等の	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	1	・よくわかりません ・訓練は実施されていました(お知らせがあった)	・マニュアルの配布だけではなく、様々な場面での被災を想定した避難訓練、安全確認を行っていくよう取り組んでまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	1	・よくわかりません ・訓練は実施されていました(お知らせがあった)	療育時間内に実際の避難訓練を行いました。今後も定期的に訓練を行ってまいります。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1	・	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0	・はい	・発生直後に保護者へ連絡し、状況説明とその後の経緯を話します。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0	・はい	・人と関わることで不安や失敗などがあることを充分想定しながら、ご本人の最善の利益を尊重し「安心・安全」を提供していきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	・はい	・スタッフのスキルアップに心がけ、楽しく働く場であることが第一と考えております ・現在の支援の質に甘んじることなく、向上してまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	・はい	

(別紙5)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 虹のお家		公表日		2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・3か所の支援室（和室・デイルーム・2Fブ レールーム）に利用者や指導員が目的に沿っ て利用するように心がけている。	・常に各部屋にスタッフが配置されている事 を、児童発達支援管理者が把握すること。一 か所に集まりすぎないように声掛けを行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・利用者の特性によって1対1が必要な場合も 考慮してスタッフの勤務体制を整えるように している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	5	・開き戸を取り外し、ドアの開閉による衝突 を軽減した（二階階段上がり口）	・施設の段差解消が必要だが、建物の構造上 現段階では限界があると思われます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・終業後の「清掃チェックリスト」を用いて 清掃と物品の補充等を行っている ・収納とラベリングを行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・認めている ・3部屋の活動向けの部屋のほかに、相談室を 使うことができる	・必ずスタッフがそばにいる必要があるた め、都度スタッフの体制を見極める（人数に 余裕がいる）	
業	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・個別機縁計画の更新に当たりモニタリング ～原案会議までは職員全員に告知し、文書の 閲覧と書き込み（提案）ができています	・全員会議を毎週行いたいですが、シフトの関係 で難しい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・評価表の結果を踏まえて、職員会議を行っ て改善について検討している	・	

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・口頭での申し送りや、スタッフ専用の連絡ノート、ライン等にて意見を把握し、早い時期に改善に向け具体策を検討している	・会議に出席できないスタッフには書面にて確認してもらっているが、意見を出す機会とはなっていないようだ。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・専門の外部評価は受けていないが、学校の担任や相談員による「支援現場のチェック」は受けている。	・すべての利用者と職員の評価とはなっていない。今後、会社としての必要性を提案したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・県や市町からの情報を職員間で共有して、受講を促がしている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・多方向からの意見を集約し共有することで、偏りない支援の方向を考慮している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・全職員の目に届くところにファイルを置き、日々の記録記入時に確認できるようにしている。	・内容が更新された時にわかるようにしたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・現場で行うインフォーマルアセスメントを中心に計画を立てている	・フレームワークシートを用いて、支援者が一貫性のある指導計画を作ることが出来るようになった
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・設定している	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	「大人会議」や「子ども会議」という取り組みを毎月行い、全員が意見を出せるように工夫している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・行っている ・ラインなどの活用	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・行っている ・毎日の個別支援記録の記入時に口頭やメールにて共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・行っている	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・半年以内に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1	・毎月の行事予定表のプログラムに反映している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・特性に合わせて同じプログラムを段階分けや別の物に変更することも設定している	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・参画している	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・中区子ども部会・放課後ねっとなどの主催行事に出席して連携のつながりを作っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・機会が少ない	・相談支援員の仲介によって、情報を得ている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・必要に応じて提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・はい	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・地域の公園や児童館の子どもたちと同じ敷地にて過ごす機会を設けている（30分～50分）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・常勤職員は参加している	・内容や機関の役割が周知不足
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・送迎時、欠席時、必要に応じて必ず報告や申し送りを行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・関係機関からの研修案内を保護者に配布し、参加を促している	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約時、内容の変更時に行っている		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1	・面会又は電話にて説明し同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	・行っている ・専門の人からの意見も交えて助言するようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・年に一回「進級・進学・卒業を祝う会」を行い（3月）、保護者や相談員などを招待し茶話会を催している	・回数が少ないかもしれない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・早い時期に対応するよう心掛けている ・記録に残す	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ホームページ・インスタグラムにて発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・はい	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・はい	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域の祭りの際は役員に挨拶をして、要配慮者の施設であることを認知してもらえるように努めている	・管理者の業務として行っている為、他のスタッフに周知が足りなかった
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・策定し玄関に掲示している ・利用者と職員で訓練を年二回行っている	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・はい	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・はい	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・はい	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	・はい	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・マニュアル化して文書で知らせている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・はい	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・はい	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・はい	